

## 1 はじめに

本校は少人数であるため、集会活動などで全員に活躍の場がある。また、異学年交流が盛んであるため、特別活動では高学年のリーダーシップが発揮しやすい。このような小規模校のよさを生かして、自主的・実践的な態度を育てる特別活動について実践してきた。

さらに小中一貫校として中学生と一緒に活動する場面もあり、児童たちは楽しみにしているが、今年度は感染症予防のため中学生との活動は、大きく制限されることになった。

## 2 今年度の実践

### (1) 小中合同の活動「小中合同マナーアップキャンペーン」

- 今年度は、あいさつ運動は行わず、各学級で話し合っただけの標語を掲示し、放送で発表した。

### (2) 小学校での活動「全校遊び」

- 月1回、水曜日昼休みに実施
- 計画と運営は、5年生が2名ずつ当番になり行う。

7月	戦国じゃんけん	11月	ラインおに
10月	だるまさんが転んだ	12月	オオカミさん今何時？

- 遊びの選定の際の留意点
  - ・ジャンケンを活用し、児童同士が接触しないようにする。
  - ・おにごっこでは、不特定多数が入り乱れることのないように工夫する。
  - ・縦割り班4班が1班ずつ対戦できるように、対戦コートは2コート設定する。



### (3) 各学級での活動「クラス遊び」

#### ア 低学年クラス「おたん生日会」

責任者を3人ずつ決めて、学期1回実施。  
学級での話し合いにより、遊びを3種目選ぶ。



#### イ 中学年クラス「お楽しみ会」

学期1回実施。  
学級での話し合いで、遊びの責任者や司会など必要な係を決める。



#### ウ 高学年クラス「キラキラタイム」

帰りの会でのよいこと発表が一定数たまると、レクリエーションを実施。

## 3 成果と課題

今年度は、児童が主体的に計画し活動する行事がほとんど中止になってしまったが、マナーアップ標語の放送のために、福祉・放送委員が自分たちで分担し、原稿作りなどの準備をすることができた。全校遊びでは、当番になった5年児童が、感染予防の配慮をしながら計画し、リーダーシップを発揮して運営することができた。各学級での話し合い活動の積み重ねが自主的・実践的な態度を育むことにつながっていると考えられる。

今後も、一人一人が活躍の機会を持てるという本校の特長を生かした特別活動の設定を工夫していきたい。